

やってみよう自分から もっと生かそう学んだことを ともに生きよう感謝の心で



学校だより

12月号

横浜市立谷本小学校
令和4年11月30日

HP アドレス <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/yamoto/>



谷本の森とせせらぎ緑道

校長 高橋 哲雄

皆様ご承知のように谷本小学校には「谷本の森」と呼ばれる学校林があります。横浜市には300を超える小学校がありますが、なかなかこういう環境はありません。その中でも子どもたちの活動や学習に活用されているところは本当に少ないようです。かつては、戦前から戦後にかけて、学校運営費の捻出や校舎建て替え用の木材の確保のためとして森林を育てる学校があったようですが、学校林は時代の流れとともに衰退の一途をたどっています。谷本小学校では、今から20年近く前、2004年頃から「谷本の森」の教育的効果に着目し、授業や課外活動での積極的な活用に取り組み始めたという記録があります。10年前、140周年の時には「谷本の森マップ」も作られています。現在は、春の6年生のたけのこ掘りに始まり各学年に応じて取組を進めています。

11月12日(土)には、秋晴れの素晴らしい天気の中、「谷本の森」の保全活動を行いました。参加を申し込んだ児童や保護者の他に、たぬきクラブ(おやじの会)、キッズクラブ、学校開放の野球やミニバスにも参加していただき100名を超える人数で、全国森林インストラクター神奈川会の皆様のご指導・ご協力をいただきながら、みんなで作業を行いました。遊歩道の補修や除草、落ち葉集め、ビオトープやその周辺の清掃や除草など、みんなで気持ちのいい汗を流しました。その後には、森林インストラクターの方からSDGsと環境教育について学んだり、森の中のビンゴゲームを楽しんだり、谷本小学校ならではの活動になりました。ご協力いただきました皆様、ありがとうございました。



「谷本の森」での取組が始まったのと同じ時期に、当時の6年生によって「せせらぎ緑道」の取組がスタートしています。「自然を守る・ふれあえる」「楽しく・だれでも利用できる(バリアフリー)」をコンセプトにワークショップが重ねられ、現在のように整備されていきました。今年は3年生が総合的な学習の時間に「せせらぎ緑道」での活動を進めています。

前述の「谷本の森マップ」の中に、谷本の森でドングリ(クヌギの実)を拾って育てたものをせせらぎ緑道に記念樹として植えたという記録がありました。2つの取組はこんなところでもつながっているようです。クヌギの木、今度探してみたいと思っています。